



▲大健闘の揖斐川町消防団

ポンプ車の部
 優勝 揖斐川町消防団 小島分団
 準優勝 揖斐川町消防団 大和分団
 3位 揖斐川町消防団 揖斐分団

小型ポンプの部
 優勝 揖斐川町消防団 揖斐分団
 準優勝 揖斐川町消防団 小島分団
 3位 揖斐川町消防団 北方分団

6月16日(日)、池田公園グラウンド(池田町)で、第58回揖斐郡消防操法大会が開催されました。大会には揖斐郡内の消防団から、小型ポンプの部に10チーム、ポンプ車の部には13チームが出場し、消防技術を競いました。大会の結果は次のとおりです。

消防技術を競う揖斐郡消防操法大会

～揖斐川町消防団が2部門で優勝～

また、8月4日(日)には、可見市ふれあいパーク緑の丘(可見市)で「消防感謝祭」第62回岐阜県消防操法大会が開催され、大会へは揖斐郡を代表して、揖斐川町消防団(小島分団)が出場します。大会での活躍を期待しています。



▲ポンプ車の部準優勝 小島分団



▲小型ポンプの部優勝 揖斐分団



▲2次避難所への避難の様子

土砂災害が発生したことを想定した防災訓練が6月30日(日)、谷汲地区で行われました。災害発生時の被害を最小限に食い止めることを目的としているこの訓練には、谷汲地区の住民1200人が参加し、各地域で避難訓練を実施。また、2次避難所となった谷汲総合運動場では、消防団による土のうこしらえ、揖斐川町災害救援ボランティアによる土砂除去、揖斐郡消防組合による建物屋上からの救出などの訓練が行われました。訓練終了後には、防災講演会も行われ、参加者は、防災意識を高めています。

災害から命を守る谷汲地区土砂災害防災訓練

～災害時の警戒体制や避難支援体制を確認～



▲災害救援ボランティアによる土砂除去訓練の様子



▲消防団による土のう設置訓練の様子

サッカーFC岐阜「揖斐川町ホームタウンデー」で町をPR

6月8日(土)、長良川競技場でFC岐阜揖斐川町ホームタウンデー(対V・ファアレン長崎戦)が行われました。

地域との連携を目的としたホームタウンデーでは、会場内で町の物産を販売したり、入場者にパンフレットを配布するなど、揖斐川町の魅力をPRしました。

試合前には町のスポーツ少年団の揖斐川FCジュニアがホームタウンフラッグを持って選手と入場し、観客の拍手を浴びていました。

また、この日はFC岐阜が今シーズンのホーム戦初勝利を収め、会場は喜びに沸いていました。



▲フィールドへの入場の様子

国民平和大行進が揖斐川町に

核兵器のない世界をめざして

6月15日(土)、核兵器廃絶や戦争反対を訴えて行進する「国民平和大行進」が揖斐郡3町や神戸町で行われ、揖斐川町では、真教寺(三輪)から役場までを約30人が行進しました。

この取組みは、東京や沖縄から平和への思いを訴えながら広島や長崎を目指すもので、揖斐川町でも毎年行われています。

この日、役場を訪れた参加者らに宗宮町長は、「平和で安全な世界となるように日本が核兵器の廃絶を訴えていかなければなりません」と話し、平和への願いが込められたペナントを手渡しました。



▲ピースウォークの様子(役場駐車場にて)

小学生がカワゲラウォッチングで川の水質調査

町内の小学生が川にすむ生き物を観察して水質などを調査する「カワゲラウォッチング」が行われました。きれいな川にすむカワゲラにちなんで名付けられた「カワゲラウォッチング」は、川に生息する生物を観察したり調査したりしながら水質保全や水質浄化の大切さを学び環境について考える取組みです。

6月17日(月)、この日は、北方小学校3年生の児童15人が揖斐川を訪れカワゲラウォッチングを行いました。児童らは、さまざまな生き物を捕まえて種類ごとに分類して調査票に記入していました。この調査で揖斐川の水がきれいに保たれていることが分かったようです。



▲石の裏を探る児童たち(北方小)

春日の山菜が給食に

サワアザミ好評

毎月19日の食材の日に合わせて、揖斐川町学校給食センターでは、町内産の食材を使用した給食を提供しています。

6月19日(水)には、春日地域で採れたサワアザミやフキなどが入った給食およそ2900食が提供されました。

また、かすが幼稚園では、町の栄養士による食育の話もあり、園児らは食材を眺めながら耳を傾けていました。サワアザミなどが入った山菜ごはんを口に入れた園児は「甘くておいしい」と笑顔で答えていました。



▲食育の話を聴く子どもたち(かすが幼稚園)



▲出演者のトークが会場を沸かせていました

6月23日(日)、中央公民館で、ぎふチャンネルラジオ公開録音「いびがわ歌謡ショー」が行われました。

歌謡ショーには、演歌歌手の原田悠里さん、小金沢昇司さん、そして揖斐川町出身の松田敏来さんが出演し、それぞれの代表曲や人気曲を熱唱しました。満員となった客席からは、大きな拍手が送られ会場は盛り上がりを見せていました。

歌謡ショーの合間には、揖斐川町商工会長の田中良忠さんや宗宮町長がステージに上がり、町の観光資源や歴史・伝統文化などの魅力をラジオのリスナーに向けて紹介しました。

ぎふチャンネルラジオ公開録音
いびがわ歌謡ショー



▲ひのき林の中に広大なゆりの園が広がります

6月9日(日)、谷汲ゆり園がオープンし、43種類30万球のゆりが来場者を出迎えました。

6月16日(日)と23日(日)には、ゆりまつりが開催され、早咲きのスカシユリ系の花が鮮やかに園内を彩りました。会場内では、おば太鼓の演奏や歌謡ショーが行われ来場者を楽しませていました。

ゆり園は、谷汲大洞地区の皆さんの手作りです。平成8年の開園以来、少しずつ整備が進み、現在では、3ヘクタールのゆりの園が来場者を楽しませており、6月初旬〜7月中旬にかけての観光スポットとして人気があります。

43種類30万球のゆりがお出迎え
〜谷汲ゆり園〜



▲元気よく水しぶきを上げる児童

谷汲小学校とたにぐみ幼児園共同のプール完成式が6月24日(月)に行われ、子どもたちが元気に水しぶきを上げました。

平成19年度に完成した現在の谷汲小学校には、プールがなかったためこれまで、町民プールを利用していましたが、完成によって児童らが身近に利用できるようになりました。

この日は、宗宮町長や関係者ら60人が式典に出席してテープカットで完成を祝いました。

また同日のプール開きには、元五輪選手で県立岐阜商業高等学校教諭の糸井統さんとぎふ清流国体成年男子100メートルバタフライ優勝の原翔太選手の水泳教室が行われ、子どもたちに水泳の楽しさを伝えました。

谷汲小学校プール完成
〜プール開きで元気に水泳〜



▲養老鉄道揖斐駅での街頭啓発

7月の「社会を明るくする運動(法務省主催)」および「青少年の非行・被害防止全国強調月間(内閣府主催)」に併せて、7月1日(月)、いびプラザ前と養老鉄道揖斐駅で街頭啓発活動が行われました。

保護司会、更生保護女性会、揖斐川BBS、青少年育成推進員、県立揖斐高校のMSリーダーズに今年から揖斐川中学校の生徒も加わり、啓発用品や、チラシを配布し、運動を呼びかけました。

私たち住民一人ひとりが関心を持ち、それぞれの立場で関っていくことで非行や犯罪のない明るく住みよい地域にしていきましょう。

犯罪や非行のない社会へ
〜街頭啓発活動〜